

平成 25 年日本熱物性学会第 2 回 (2013-2) 役員会議事録

日時:平成 25 年 4 月 20 日(土) 役員会 14:00~16:30

場所:芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者:(五十音順・敬称略)

上利泰幸(大阪市立工業研究所)	大村高弘(ニチアス)
片岡秀文(大阪府立大)	佐藤讓(東北大学)
芝原秀文(大阪大学)	高橋一郎(山形大学)
田口博幸(京都電子工業)	田澤真人(産業技術総合研究所)
平澤良男(富山大学)	宮崎康次(九州工業大学)
元祐昌廣(東京理科大学)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工業大学)	山田修史(産業技術総合研究所)
山田純(芝浦工業大学)	

審議事項:

長坂会長より挨拶があり、配布資料の確認が行われた。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号:13-2-1-役

元祐評議員より、資料 13-2-1-役 に基づき前回議事録の確認があり、一部誤記修正の後に承認された。

(2) 覚書の確認……………資料番号:13-2-2

山田事務局担当より、資料 13-2-2 に基づき、前回の役員会での修正事項を反映した覚書について報告があり、承認された。表彰関連の文言の訂正については本年度中に実施予定とのこと。

(3) 第 34 回熱物性シンポジウムについて……………資料番号:13-2-3

平澤第 34 回シンポジウム実行委員会委員長より、資料 13-2-3 に基づき、第 34 回シンポジウムの準備状況について報告があった。第 2 回会告案が提示され、HP がオープンした旨、実行委員会メンバーが報告された。共催・協賛団体は一部交渉中であり、10~11 の OS が企画予定である旨が報告された。なお、シンポジウムキーワードに「ナノ・マイクロスケールの熱物性」を追加、参加費等は昨年と同様の予定とのこと。一般セッションに「ナノ・マイクロスケールの熱物性」を追加する旨が提案された。法人会員に無料での広告掲載をお願いしてはどうか、という提案があり、検討することになった。

(4) 第 35 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:13-2-4

森川第 35 回シンポジウム実行委員会副幹事より、第 35 回シンポジウムの準備状況について報告がなされた。会場の予約が 1 年 2 ヶ月前からのため、会期候補を複数用意しているとのこと。なお、百年記念講堂は改修予定のため利用できない。部屋数を増やした方が良いのでは、という意見が出され、過去の開催状況を踏まえて検討することになった。

(5)各種委員会報告……………資料番号:12-2-5編集委員会

山田事務局担当より、資料 13-2-5①に基づいて、第 11 期編集委員会委員リスト及び 5 月号の目次案について報告があった。熱物性データベース紹介に関する新規連載講座（計 4 回）を掲載する旨が報告された。講座は原則 6 ページとなっているが、データベースの画面紹介等を含めるとページ数が増えることが想定され、これについては編集委員会に一任することになった。8 月号は通巻 100 号なので、何らかの企画を考える方向とのこと。

表彰委員会

佐藤表彰委員会委員長より、資料 13-2-5②-1~3 に基づいて、2013 年度学会賞の候補募集についての説明があった。論文賞の申請書・推薦書について、掲載誌名の記載順序を一部修正している。論文賞の「最近 2 年間」については、ATPC が 3 年周期ということもあるため、柔軟に考えたい。是非とも積極的な応募をお願いしたい。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料 13-2-5③に基づいて報告があった。講演論文集公開 HP の試用版について、寄せられた意見を元に、キーワード検索ができるようにしたとのこと。5 月から会員向けに公開して広く意見を集め、11 月のシンポジウム前に一般公開を予定している旨が報告された。過去の論文集の購入の要望は少ないため、一般公開した方がよい、との意見が出された。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 13-2-5④に基づいて、活動報告があった。第 34 回シンポジウムでのベストプレゼンテーション賞関連業務の報告がなされた。選考方法について検討予定とのこと。研究分科会の活動状況の管理について、事務局と連携して今後検討していく。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 13-2-5⑤に基づいて、広報活動について報告があった。フロントページコラムの更新頻度を上げたいとのこと。ML の情報管理について、事務局と連携して進めていく。

(6)研究分科会報告……………資料番号:12-2-6先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

山田事務局担当より、資料 13-2-6①に基づいて、H24 活動報告と H25 活動計画予定について報告があった。30 周年記念出版「宇宙機のシステム熱設計」が今年度中に発刊予定とのこと。

高温融体物性と材料プロセス

佐藤表彰委員会委員長より、資料 13-2-6②に基づいて、H25 活動計画予定について報告があった。現在、2 回の研究会を開催予定とのこと。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

宮崎広報委員会委員長より、資料 13-2-6③に基づいて、活動計画が報告された。

水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田事務局担当より、シンポジウムでの OS と、シンポ開催に併せた講演会が企画中であるとのこと。

(7)名簿発行について

山田事務局担当より、名簿の更新についての進捗状況の報告がなされた。更新作業は順調で、会誌 5 月号に同封できるように印刷まで進めたいとのこと。

(8)事務局報告……………資料番号:12-2-8-1~3

山田事務局担当より、資料 12-2-8-1~3 に基づいて、共催・協賛、会員異動、預り金報告、役員会スケジュールなどの報告があった。

(9)その他

- ・ 高橋規約等整備担当より、退任の願いが出され、理事会で承認された旨が報告された。後任は牧野先生に就任頂く。
- ・ 山田事務局担当より、事務局運営の経費について、次年度より委託料という扱いで計上してはどうか、という案が提案された。次期事務局担当と調整しながら今年度中に検討する。
- ・ 長坂会長より、2016 年開催の ATPC で、東京地区での開催を立候補する方向で進める旨が報告された。そのため、今後の 3 期分におけるシンポジウム開催場所についても合わせて検討していきたいとのこと。

以上